

お口にも癌（口腔癌）が発生することはご存知でしょうか？

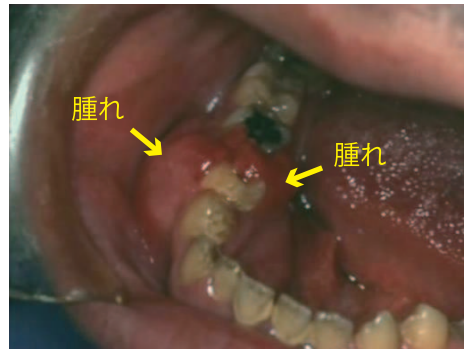
※(癌 = がん)

近年増加傾向 & 男性が女性の約3倍



日本において口腔癌の発生率は、癌全体の2～4%を占め、これが多いか少ないかは皆さんの判断ですが、以前のデータを見てみると199

0年と2005年とで比較をしてみると男性が2000人から4000人へ、女性も750人から1500人の増加傾向を示しています。罹患、死亡率は共に50才以降から増加傾向を示し、男性が女性の約3倍です。



自覚症状が少なく発見が遅れがち

口腔癌と言ってもそれは大きな括りで、その中に舌癌、舌の下にできる口腔底癌、歯肉にできる歯肉癌、口の口蓋（上あご）の部分にできる口蓋癌など、口のなかの様々なところに発生するものです。自覚症



状が少なく早期発見が少ないのが特徴ですが、早期発見で治療すれば5年後の生存率は90～95%とされています。

早期発見の為にセルフチェックポイント

自分でチェックしてみましょう。

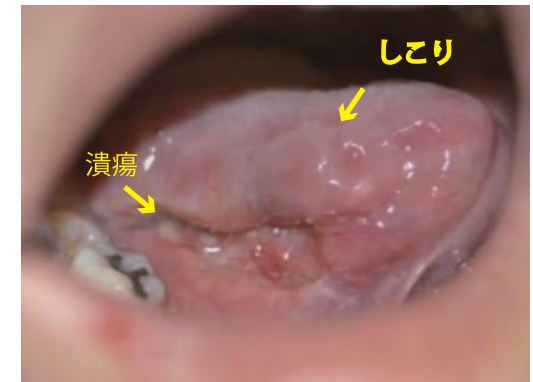
- ① 治りにくいできものがある
- ② ただれや赤い斑点がある
- ③ こすっても取れない斑点がある
- ④ 周囲との境界がはっきりしないシコリや腫れ

さらに上記①～④のいずれかに付随して…

- a) 噛みずらさ、頬、舌の動かしずらさを感じる
- b) 舌などにしびれや麻痺を感じる
- c) 首のリンパ節の腫れが3週間以上続く
- d) 口内炎が2週間以上治らない



…場合には、歯科医院に来院し、診察してもらいましょう。疑いがある場合には、歯科医師会との連携により提携病院にすぐ紹介できる体制になっております。また、目黒区の成人歯科健診にも軟組織の異常があるか・ないかの項目がありますので同健診を受けることをおすすめします。



予防が大事！ そして定期検診も！

口腔癌の予防としましては以下のようなことが言われています。

- 1) たばこ、お酒を控える。
- 2) 偏食せず、栄養のとれた食事をする。
- 3) 歯みがきやうがいなどで、口のなかを清潔にする。
- 4) 壊れた入れ歯、合わない入れ歯、治療していない虫歯などの尖ったかど、壊れた被せものなどをそのままにしておかず、きちんと治療する。

他の体の部分にできる癌同様、予防および早期発見で特に大切です。かかりつけ医師・歯科医師を持ち定期的な検診を受けることをおすすめします。

目黒区歯科医師会では、少しでも地域医療に貢献できるよう、会員の歯科医師達に口腔癌に限らず、新しい知識、情報、また技術を習得する為に定期的に講演会を開催しております。